



令和3年度(2021年度)学校教育目標

自ら学び、心豊かに、たくましく未来を切り拓く生徒の育成



校訓【自主・友愛・健康】

玉名市立天水中学校だより 第9号

## 6月は「心のきずなを深める月間」

—いじめを許さない学校・学級を目指して

### 仲間に対する信頼関係が「心のきずな」—中体連選手推戴式に向けて

公益財団法人日本バレーボール協会編による「中学校部活動におけるバレーボール指導者へのガイドライン」では部活動の意義を述べたページで、部活動で培われることが期待できる「人間力」として次の4つを例示されています。

**意志**…部活動のルールを守り、決めたことをやり通したり、仲間と協調するために自分の気持ちをコントロールしたり、嫌なことやつらいこと、うまくいかないことなどを我慢して行うことによって強い意志が育つ。

**思考・判断**…誰かに指示をされて行動するのではなく、今何をすべきか、何をしてはいけないかを自らの心に問いかけながら行動することによって、適切に判断する力が育つ。

**創造**…より効果的な練習方法を考え工夫したり、新たなものを発見したりすることで創造力が培われる。

**情操**…仲間に対して思いを寄せ、励ましの声をかけたり、仲間が上達するようアドバイスをしたりすることにより、高尚な心の働きが育つ。

これらの能力を高めることにより、人間力が培われる、とされています。試合やコンクールでいい成績を収めることは目標であって目的ではありません。目標の達成に向けて取り組むことにより、人間として成長できます。

特にバレーボールは、カバーリングのスポーツです。仲間に対する信頼関係の構築が大切です。仲間がミスをしたらそれをカバーしたり、自分を犠牲にしても、仲間を生かしたりして助け合う競技です。決してミスをした仲間を責めることなく、どうすればよりうまくいかをみんなで考えることを大事にするのです。また、対戦相手がいなければゲームは成立しません。対戦相手に敬意を払い、フェアプレー精神を培うことも忘れてはいけません。私たちが社会の中でよりよく生きていくために大切なことを学ぶことができるのが、バレーボール競技です、と述べられています。

仲間に対する信頼関係の構築を重視するのは、カバーリングのバレーボールに限ったことではないと思います。どのスポーツにもそれぞれの魅力があります。社会の中でよりよく生きていくために大切なことを学ぶのは、特別活動に通じるものです。本校で育成を目指している「思考力」「発信力」「協働力」にも通じます。

全校集会などで話をする際、私はその機会をミニ道德の時間だと捉えています。昨年度の全校集会で大谷選手、本年度の人権集会で池江選手を紹介したのは、何もプロ野球選手や水泳のオリンピックを目指しましょうというわけではありません。2人に共通するのは自らを励まし勇気づける言葉を持っている点です。その言葉を通じて周囲の人々をも力づけています。だからこそ、一人の人間として応援したくなります。本校の部活動生を応援している人は多数いることでしょう。昨年度は中止となった中体連大会が本年度は開催されます。大きな声援を送ることはできないかもしれませんが、その分大きな拍手を送りたいと思います。

◇本校ホームページも随時更新しています。[天水中学校](#)で検索